

<p>永平寺町上志比公民館</p>	<p>テーマ「できることを1つずつ ～つどい・まなび・むすび・つながっていく公民館～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での自粛期間中、オンライン講座にいち早く着目した。「おうちでできる 公民館講座」(ヨガ、ダンスなど)等の動画を撮影し、町の公式Youtubeで配信することで、住民の運動不足解消に貢献した。 ・企画講座「アロマソープ作り」のハイブリッド開催(zoom+対面)にも挑戦した。参加者がオンラインへの抵抗が少なくなるよう工夫した結果、ICTへの関心を示す高齢者が増加し、難度の高い質問も出るようになった。 ・町民全てが視聴できる行政チャンネルを使用し、「新しい生活様式としてのツール」の使用に慣れていってもらうようにした。高齢者の「ここが分からないから教えてほしい」という声をできる限り拾い、個別対応することでデジタル・ディバイド解消に乗り出した。
<p>坂井市兵庫コミュニティセンター</p>	<p>テーマ「地域は《家族》 コミセンは《わが家》 ～地域性を生かして 住む人みんなが《幸福》に～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミセンを中心に、全国にも稀な地酒造りに平成27年から取り組む。明治期に発見された幻の酒米「神力」を種から育て、かつて兵庫地区で作られていた日本酒を復刻させる「淵龍再興プロジェクト」では、住民が一つの目標に向かって気持ちを合わせ、意見を出し合った。世代や職種を超えて多くの住民が自ら関わるようになり、その姿を見た子どもたちが酒米づくりに参画するなど、次世代育成にも繋がっている。 ・コミセン職員が、このプロジェクトに若い世代を呼び込もうと「寄附市民参画制度」を活用し、全国の寄付者を味方につけたことで、多くの女性や子ども、若者等、幅広い世代がこのプロジェクトに関わるようになった。若い世代がキッチンカーでのPRや新しいパッケージの開発、兵庫地区の自然・「淵龍」誕生経緯をまとめてYoutubeで動画配信した。また、地元高校生が「淵龍」の酒かすを使ってスイーツを開発した。